

とまゆをかたてめあつた
おへ寝ねむはまへとま
まてゆせよがす 檻門と
まゆをかたてめあつた
おへ寝ねむはまへとま
まてゆせよがす 檻門と

促おからぬ先の音を
河の音を食さぬ
風川の音をさう
行あら

大同新約

手引

一
流引大同新約

家店

西平之助の御仕事
主めんとまへとま
まてゆせよがす 檻門と
まゆをかたてめあつた
おへ寝ねむはまへとま
まてゆせよがす 檻門と

本居宣長著
古事記傳

2
1/2

七
九
九
九
九

王之子也。中行

2

故人不以爲之
一語矣

王右軍

此是○某年○後○之○事○

卷之三

13
14
15
16
17
18
19
20
21
22
23
24
25
26
27
28
29
30